

石から始まる物語

日本遺産サミット記念特別展

10月2日(土)・11月28日(日)

9:00～17:00(入館 16:30 まで) 休館日:水曜日(祝日の場合翌日)

小松市立博物館 石川県小松市丸の内公園町 19
TEL:0761-22-0714

観覧料:一般 300 円(団体 250 円) 高校生以下 無料

・障害者手帳を取得されている方と、付き添いの方 1 名まで無料
・小松ミュージアムバス対象

海底爆発!
日本列島誕生



降積る火山灰が固まり
凝灰岩ができる

流れ出るマグマが固まり
流紋岩ができる

石槍を
つくる



管玉をつくる



鉄の斧を
持ち帰る



首飾りをつくる



腕輪づくりを
おしえてもらう



鉄の道具を
つくり
採掘が
はかどる



石が売れずに
持ち帰る



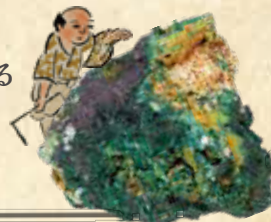
花坂陶石が
みつかる



金が
みつかる



銅が
みつかる



花坂陶石で
九谷焼が再興する



小松の石の文化が
日本遺産に
認定される



若杉窯呉須赤絵写龍花鳥図鉢



ホームページ

KOMATSU CITY MUSEUM

<http://www.kcm.gr.jp/hakubutsukan/>

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のための対応にご協力下さい。
※ 会期・開館時間、内容など状況により変更となる場合があります。

金平金山絵巻(小松市指定文化財「石黒家文書」より)

石からはじまる物語 ～ものづくりこまつ～



こまつの人と石とのかかわりは、およそ2万年前の旧石器時代にまでさかのぼります。以来、自然の恵みを活かしたものづくりは今日まで連綿と受け継がれてきました。

探索、採集、加工、利用する人と技。これらの要素が、形を変えつつ、石をキーワードに時を超えて様々にリンクします。どの物語も、革新的なものづくりへの想いにあふれ、その想いがこれらの物語を繋いでいることに気付かされることでしょう。

ひととき 石からはじまる物語に耳をすませば、目に映るまちの景色が少し違って見えてくるかもしれません。

流紋岩の物語

赤い石でつくる

小松の赤い流紋岩は、鋭く割れる性質があり、2万年前の旧石器時代から縄文時代にかけて、石槍やナイフなどの道具に加工されました。



白い石でつくる

流紋岩が熱水風化作用により変質した白い石。花坂のこの石は江戸時代後期から陶石として利用され、いまま九谷焼の原料として利用されています。



碧玉の物語

碧の石でつくる

透き通る鮮やかな緑色をした翡翠の勾玉に深い碧（あお・みどり）色をした極小の碧玉の管玉を加え、新しいアクセサリーが小松で生み出されました。日本海を行き交う弥生の宝石です。



造形美を求めて

大和王権が誕生し、南海産の貝の腕輪をまねて、緑の石で腕輪をつくるよう命じられます。緑の石と培われた技を活かして、加賀は緑の腕輪の一大生産地となりました。



黄金の物語 ～絵巻にみる黄金の村の物語～



金平山絵巻（小松市指定文化財「石黒家文書」より）



加州金平山絵巻（石川県指定文化財 / 石川県立歴史博物館蔵）

関連イベント

● フォーラム「古墳時代の碧玉」

10月3日（日）13:00～ / 要申込（LIVE 中継もあります）
会 場：小松市公会堂
申 込：小松市埋蔵文化財センター（☎ 0761-47-5713）

● 世界に一つだけの石のアクセサリーづくりツアー

10月31日（日）12:00～17:00（博物館集合・解散）
申 込：博物館（☎ 0761-22-0714）先着12名（受付開始10/2～）
参加費：500円（材料費）

● 2021 日本遺産サミット 「日本遺産で輝く！地域と人とのづくり」

11月13日（土）・14日（日）
会 場：サイエンスヒルズこまつ・芸術劇場うらら ほか
詳 細：小松市ホームページ▶日本遺産サミット in 小松

